

2026年5月1日

**カルシウム関連研究に対する
「研究助成」並びに
「技術者・研究者育成助成」の
募集**

白石科学振興会

ごあいさつ

いつの時代においても、我々が住む社会は、日々急速に進展しています。この社会が進展する先は、人類が希求する「すべての人が経済的には勿論、精神的、文化的に豊かで、健康、安全で、より良い社会」です。

今からおよそ 100 年前、1900 年代の初めに、白石グループの創業者白石恒二は、世界に先駆けて、天然石灰石を工業的に精製する「ガス化合法」を発明しました。この発明により、炭酸カルシウムの純度は勿論、応用目的に適した粒子の形や粒子径分布を制御した高機能炭酸カルシウムの大量生産が可能となり、歯磨き粉をはじめ、自動車のタイヤ、プラスチック材料、インクや塗料、あるいは食品の添加物として世界の国々で広く用いられ、世界各国における「豊かでより良い社会」の形成を推進してきました。カルシウム関連事業で、人類が目指す社会の形成を推し進めることが、白石グループの創業の理念でもあります。

2022 年 3 月、白石工業株式会社、白石カルシウム株式会社、株式会社白石中央研究所の白石グループ 3 社からの資金を基に、カルシウムおよびカルシウム化合物の高度利用とそれに関連する科学と工学に関する研究の振興を図り、すべてに豊かでより良い社会の発展に寄与することを目的として白石科学振興会を発足いたしました。第 1 回目の 2023 年度の公募では、優れた研究に対して研究助成 5 件、育成助成 10 件を採択いたしました。第 2 回目の 2024 年度、第 3 回目の 2025 年度では、研究助成金額を倍増して公募を行い、各々研究助成は 10 件、育成助成は 10 件を選考、採択いたしました。お陰様で、過去 3 回とも大変多くの、かつ優れた研究のご応募を賜り、心より感謝いたしております。

皆様ご高承の通り、現在、我々の社会は少子高齢化、地球温暖化あるいは SDGs の達成など、多くの困難な課題に直面しています。これらの課題の中には、我が国において豊かな資源の一つであるカルシウムあるいはカルシウム化合物の利用により解決が期待できるものが多く、現在大変活発な研究が展開されております。今、この時期に、弊会を通じてカルシウム関連研究の振興と人材育成のお手伝いができることは、大きな喜びであります。あらためて人類が願う「すべての人にとって豊かで、より良い社会」への歩みを加速させ、社会の発展のお役に立てることを切に願っております。

2026 年 4 月
白石科学振興会 理事長
白石 恒裕

白石研究助成制度

DEVELOPMENT OF CALCIUM FOR FUTURE



白石科学振興会 2027年度事業計画

(1) 優れた研究に対する研究費の助成(予算:1,000万円)

現代社会が抱えるエネルギー、環境、医療、食糧問題などの広範な分野における諸課題をカルシウムあるいはカルシウム化合物を利用して解決しようとする研究が活発に行われております。そこで、カルシウムあるいはカルシウム化合物の利用、材料開発や生産に関する科学と工学に関する優れた研究の中から10件以内に対して、1件当たり100万円の助成を行います。

カルシウム関連材料の開発や生産に関する有用な知見を与える優れた研究を広範な領域から選定するために、直接カルシウム化合物を試料として用いていない研究も助成対象となります。例えば、物質の結晶成長機構、粒子複合材料の開発、スラリーのレオロジー特性等に関する研究等、あるいは化学工学や粉体工学の単位操作研究、製剤研究なども助成対象とします。

(2) 若手の技術者・研究者の育成に対する助成(予算:300万円)

若手の技術者・研究者の育成は、主として各大学の大学院博士課程において行われています。現在では、大学院博士課程後期課程の学生に対しては、種々の奨学金や助成制度が用意されております。そこで、本振興会では、技術者・研究者育成助成として大学院博士課程前期課程1年生の学生およびそれに相当すると認められた学生を対象として、一人当たり30万円の助成を10件以内で実施します。

この技術者・研究者の育成に対する助成についても、直接カルシウム化合物を試料として用いていない研究であっても、カルシウム関連材料の開発や生産に有用な知見を与える研究に携わる学生は助成対象となります。

白石科学振興会 研究助成、技術者・研究者育成助成 募集要項

本振興会はカルシウムの高度利用を可能にする科学と工学の振興を図り、カルシウムやカルシウム化合物の応用により現代社会が抱える諸課題を解決し、すべてに豊かで、より良い社会の実現に貢献することを願って、2027年度は下記の助成事業を実施します。奮ってご応募くださいますようお願い申し上げます。

1. 助成の種類

- (1) カルシウム関連の諸科学と工学に関する優れた研究^{*})に対する助成
(以下、研究助成と略称)
- (2) カルシウム関連の諸科学と工学研究に携わる若手技術者・研究者育成のための助成
(以下、技術者・研究者育成助成と略称)

^{*}) カルシウム関連の諸科学と工学とは、例えば、○ヒトを含む動物や植物における生理作用、○カルシウムシグナルの利用、○カルシウムの生体への吸収、○食品添加物、○畜産や農業分野への応用、○環境問題の解決、○CO₂の固定化と排出削減、○エネルギー生産や有用化学物質合成のためのカルシウム触媒、○生体材料、○工業材料、○カルシウム材料のプロセスや生産技術などカルシウムが関係する分野の科学と工学を意味します。

なお、プロセッシングや生産技術関連の研究では、直接カルシウムを試料としなくても、その成果がカルシウム材料の生産に優れた知見を与えるものであれば対象とします。

2. 助成件数と助成額

助成の種類	件数	助成額
(1) 研究助成	10件以内	100万円/件
(2) 技術者・研究者育成助成	10件以内	30万円/件

3. 助成期間 2027年4月から 1年間

4. 応募資格

(1) 研究助成：

上記助成対象となる研究活動に従事する研究者または研究グループ。

但し、日本の大学・工業高等専門学校・公的研究機関等に常勤で在籍する者に限ります。

注) 本振興会は上記助成対象となる研究分野に関連する若手研究者の優れた研究の応募を期待しております。

(2) 技術者・研究者育成助成：

大学院博士課程前期課程1年生に在籍する学生およびそれに相当すると認められる学生。

外国人留学生も応募できます。

5. 応募条件

- (1) 申請者が主体となって、助成期間に行われる研究とします。
- (2) 他の研究助成団体等から既に助成を受けている、あるいは助成を受けることが内定している研究は対象となりません。
- (3) 応募は1申請者あたり1研究テーマに限ります。

6. 応募方法および募集期間

所定の書式を用い、PDF ファイルに変換して E-mail に添付してご応募下さい。

募集期間は、**2026年5月1日(金) から 7月31日(金)** (必着) です。この期間内に、白石科学振興会事務局宛にお申し込みください。

なお、申請書の書式は、白石科学振興会のホームページ (URL は下記) からダウンロードしてお使い下さい。「申請書」は研究助成は3ページ、育成助成は2ページにまとめてご提出下さい。

* 申請して頂いた方に、申請書を受領した旨のメールを数日中にお送り致します。当該メールが届かない場合は、白石科学振興会宛にご連絡をお願い致します。

* 申請書に記載の内容は個人情報として取り扱い、選考作業以外には使用いたしません。

【送付先・連絡先】

白石科学振興会 事務局

〒660-0085 兵庫県尼崎市元浜町4丁目78番地 (株式会社白石中央研究所内)

TEL : 06-6417-3130

E-mail : shiraishi-fsd@shiraishi.co.jp

Home Page : <https://www.shiraishi.co.jp/about/shiraishi-fsd>

7. 選考方法及び助成の決定

- (1) 採択者は、白石科学振興会理事会での審議を経て決定します。
- (2) 採択者の発表は、2027年1月20日頃に本振興会ホームページ上で発表します。
また、採択者には1月中に採択通知と必要手続き書類を郵送します。

8. 助成金の交付方法

- (1) 研究助成：所属の大学、研究機関等の指定銀行口座^{*})に、2027年3月以降に振り込みます。
- (2) 技術者・研究者育成助成：

原則、所属の大学、研究機関等の指定銀行口座^{*})に、2027年3月以降に振り込みます。

ただし、研究者個人の指定銀行口座への振込を希望される場合は、ご相談させていただきます。

^{*}) 日本国内の各種金融機関に限ります。

なお、当振興会の助成金は、対象者の研究テーマに基づいた研究に必要な費用と限定しており、大学、研究機関の要望により、大学や研究機関に支払う管理費に充当することは想定しておりませんのでご承知おきください。

9 . 成果報告義務

- (1) 研究期間終了後 3 か月以内に、別途定める様式により研究成果及び会計を報告いただきます。
- (2) 助成対象の研究成果を学会や論文等で発表される場合は、「2027 年度白石科学振興会の研究助成」を受けた旨を明示し、併せて発表論文等のコピーを本振興会に提出下さい。

*論文中の記載例；

【英文】 This study was supported by Shiraishi Science Promotion Association

【和文】 この研究は、白石科学振興会の助成を受けたものです。

10 . その他

応募手続きに関するもの以外の、選考・審査に関する問い合わせには応じません。

応募書類は事情の如何にかかわらず返却いたしませんので、必ずコピーを保管しておいて下さい。

以上

役員および選考委員

(1) 役員（理事および監事）

	氏名（敬称略）	所属
理事長	白石 恒裕	白石工業株式会社 代表取締役会長 白石カルシウム株式会社 代表取締役会長 株式会社白石中央研究所 取締役会長
副理事長	宇山 浩	大阪大学 大学院工学研究科 教授
常務理事	南里 泰徳	株式会社白石中央研究所 取締役相談役
選考担当理事	三宅 眞実	大阪公立大学 名誉教授
理事	萱野 善貞	株式会社白石中央研究所 取締役所長
理事	白石 裕俊	白石工業株式会社 代表取締役 副社長執行役員 白石カルシウム株式会社 代表取締役 社長執行役員 株式会社白石中央研究所 代表取締役
理事	徳光 浩	岡山大学大学院ヘルスシステム統合科学研究科 教授
理事	萩原 理加	京都大学 名誉教授
理事	林 昌彦	神戸大学大学院理化学研究科 教授
理事	村田 芳行	岡山大学 環境生命自然科学学域 教授
監事	田中 裕人	白石工業株式会社 経理財務本部 副本部長

(2) 選考委員

	氏名（敬称略）	所属
委員長	三宅 眞実	大阪公立大学 名誉教授
委員	伊福 健太郎	京都大学大学院農学研究科 教授
委員	江口 健一郎	白石工業株式会社 製造本部 不二工場 兼 富士川工場 工場長補佐
委員	後藤 琢也	同志社大学大学院理工学研究科 教授
委員	後藤 邦彰	岡山大学大学院自然科学研究科 教授
委員	境 慎司	大阪大学大学院基礎工学研究科 教授
委員	椎名 隆	摂南大学農学部応用生物化学科 特任教授
委員	中平 敦	大阪公立大学 名誉教授
委員	正岡 重行	大阪大学大学院工学研究科 教授
委員	山地 亮一	大阪公立大学大学院農学研究科 教授

【問合せ・連絡先】

白石科学振興会 事務局 國井・織田

〒660-0085 兵庫県尼崎市元浜町4丁目78番地（株式会社白石中央研究所内）

TEL : 06-6417-3130

E-mail : shiraishi-fsd@shiraishi.co.jp

Home Page : <https://www.shiraishi.co.jp/about/shiraishi-fsd>

